

# まとい



編集 桑名市消防本部予防課  
発行 桑名防火協会  
桑名危険物安全協会  
桑名市大山田1丁目9番地  
☎(FAX) 0594-86-7494

URL <http://www.kuwabou.info>

## 新庁舎完成しました!!



### 桑名市消防庁舎等複合施設竣工式

令和7年5月31日(土) 関連記事は4ページに掲載

## 秋の火災予防運動がはじまります

11月9日(日)~11月15日(土)

この運動は、空気が乾燥し火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及啓発を図り、火災発生を防止することを目的として全国的に展開されます。

桑名防火協会では、広報事業を通じて、幅広く火災予防運動を実施します。

令和7年度全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし



# 防火ポスター入選作品が決定しました!!



いなべ市長賞  
北勢中学校2年  
岡田 梨花さん



桑名市長賞  
修徳小学校5年  
黒沼 丈二さん



桑名市長賞  
明正中学校1年  
後藤 美杏さん

市長賞・町長賞  
の作品

最優秀作品



東員町長賞  
東員第二中学校3年  
森 菜々美さん



東員町長賞  
笹尾東小学校6年  
水谷 香音さん



木曾岬町長賞  
木曾岬小学校6年  
村田 有理愛さん



木曾岬町長賞  
木曾岬中学校3年  
宮本 優月さん



いなべ市長賞  
員弁西小学校5年  
神田 彩花さん



◆審査会の様子◆

桑名市消防本部では、毎年火災予防啓発事業の一環として、管内小・中学校の児童、生徒を対象に防火ポスターを募集しています。今年度は、54校1958名の皆さんから、令和7年度全国統一防火標語「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」をテーマに応募いただきました。

火災はすべてを失います。「どんなに忙しくても、火の始末を決して欠かすことのない日常のルーティンに加え、大切な物を失わないようにしましょう。」という想いを訴える優秀作品が集まりました。

審査会は令和7年9月25日(木)クワナビスタ(桑名市消防本部等複合施設)で行われ76点が入選し、そのうち24名の皆さんが特別賞に選ばれました。また、最優秀には、東員第二中学校3年 森菜々美さんの作品が選ばれ、街頭啓発用防火ポスターとして管内各所の掲示板や事業所等に掲示し、火災予防啓発に活用させていただきます。

## 桑名防火協会長賞

### 【小学校の部】

|          |         |
|----------|---------|
| 多度中小学校5年 | 水谷 和奏さん |
| 笠間小学校5年  | 齋藤 小桜さん |
| 木曾岬小学校6年 | 黒宮はるかさん |
| 城山小学校6年  | 手嶋 菜乃さん |

### 【中学校の部】

|           |         |
|-----------|---------|
| 成徳中学校2年   | 矢野 巴菜さん |
| 北勢中学校2年   | 水元 環菜さん |
| 木曾岬中学校3年  | 川端 紗世さん |
| 東員第一中学校2年 | 高橋 陽向さん |

## 消防長賞

### 【小学校の部】

|           |         |
|-----------|---------|
| 大山田北小学校6年 | 蝦名 泰成さん |
| 員弁東小学校5年  | 市川 涼花さん |
| 木曾岬小学校6年  | 田中 凜さん  |
| 神田小学校6年   | 川澄 真緒さん |

### 【中学校の部】

|           |         |
|-----------|---------|
| 光陵中学校2年   | 碓田 真夕さん |
| 藤原中学校1年   | 清水裕佳子さん |
| 木曾岬中学校3年  | 半羽 紗菜さん |
| 東員第二中学校3年 | 富永 桃子さん |

入賞おめでとうございます!!

## 防火ポスター展のご案内

入選作品は、火災予防運動啓発活動として、次の日程で「防火ポスター展」で展示します。

11月8日(土)～11月16日(日) イオンモール桑名

11月18日(火)～11月30日(日) イオンモール東員

## 配線器具のチェック・掃除をお忘れなく

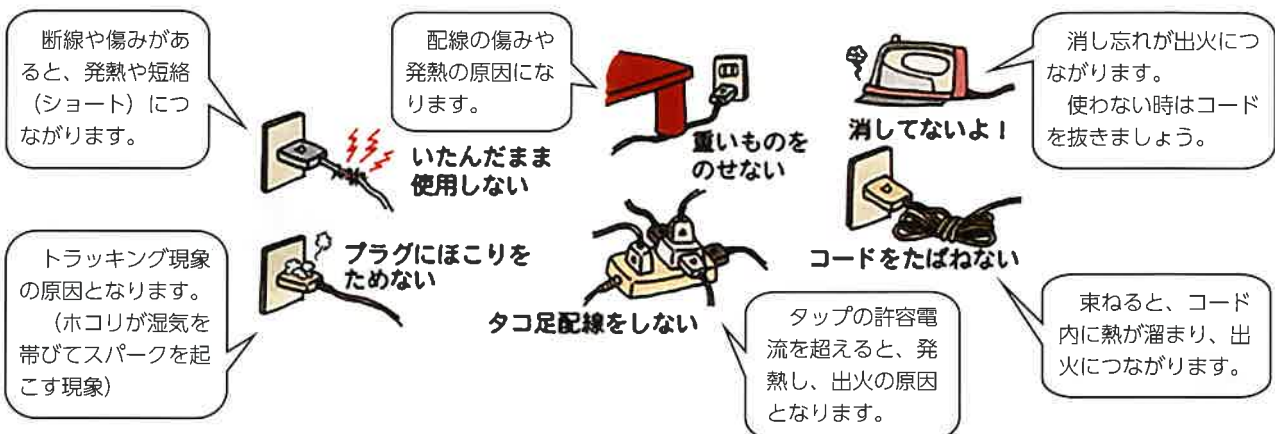
家電製品の「電源プラグ」や「コード」、  
「コンセント」を時々チェックしていますか。  
プラグやコードが傷んでいても、「まだ使え

るから」という理由で使い続けていませんか。NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）によると、2019年から2024年までの6年間に発生した家電製品の「プラグ・コード・コンセント」の事故は219件あり、事故の8割以上が火災につながっているということです。

繰り返しの引っ張りで負荷が加わったことにより電源プラグや電源コードが傷んでいたり、ほこりが溜まったまま放置していたりすることによって、火災につながるおそれがあります。これから、年末が近づいてきて、大掃除の時期になってくるので、この機会に配線器具周りも掃除するとともに、使い方や設置状況などに問題がないか改めて確認しましょう。

### 「プラグ・コード・コンセントの事故を防ぐチェックポイント」

- 電源プラグに破損・変形・変色等の異常がないか確認する。
- 電源プラグにほこりが溜まっていないか確認する。
- 電源コードに破損・硬化・変色等の異常がないか確認する。
- コンセントやタップに電源プラグを差し込んだ時に緩みがないか確認する。
- コンセントやタップに接続可能な最大消費電力を超えていないか確認する。



## 静電気火花にご注意を!!

これからの時期、空気が乾燥して乾燥注意報が発令されることも多くなり、火災の発生しやすい季節になります。湿度が下がって乾燥してくると、静電気が起こりやすくなります。一般的に静電気は物体と物体との接触、摩擦により発生し、電気を流さない不導体に帯電しやすく（帯電状態）こうして発生する電気を静電気と呼んでいます。

日常生活でも、車のドアや玄関ドアを触った瞬間、指先に電気ショックが走る経験は誰もががあると思います。また、服を着て動くと、当然重なり合う繊維が摩擦を起こし、静電気が発生します。

静電気は放電する瞬間に火花を発生しますが、この火花が火種となって火災が発生した事例も報告されています。

- ・セルフサービス式のガソリンスタンドでの給油中に、給油口から出た可燃性蒸気に静電気の火花が引火した。
- ・製品加工工場での作業中に、使用していた接着剤から揮発した可燃性蒸気に火花が着火し火災となった、等。

静電気火災は「人為災害」と呼ばれるものの一種で、正しい対策や行動で防止できるものです。

室内を加湿したり、アース、着衣等で帯電防止を行ったり、静電気除去グッズを利用する等、静電気対策に心掛けましょう。





愛称「クワナビスタ」として生まれ変わった新消防庁舎等複合施設が、6月2日から本格運用を開始しました。働きやすさ、災害対応力、地域サービス、環境配慮を両立させた新拠点は、平時の利便と有事の強さを兼ね備え、地域の安全を支えます。

▶働きやすさと多様性に配慮した職場環境

本施設は、受援時の臨機応変な対応を可能にするグループアドレス方式を採用し、局面に応じた迅速なレイアウト変更を想定しています。

感染症対策を踏まえた動線を整備するとともに、女性専用の更衣室・仮眠室・浴室を新設。多様な職員が安心して勤務できる環境づくりを推進しています。



【本部事務室】



【警防本部室】

▶司令塔機能を強化し災害対応を加速

警防本部室には大型モニターや無線設備を導入し、現場映像や各種データを一元化して迅速な状況把握を実現。非常用発電機・自家給油所の配備により電力・燃料の確保を担保し、耐震安全性「Ⅰ類」と合わせてBCP（事業継続計画）を盤石にしています。

▶市民サービスと地域交流の拠点化

庁舎内に大山田郵便局を併設し、行政手続と郵便サービスのワンストップ提供を実現。大山田地区市民センターにはDXによるリモート窓口を新設して市役所とオンライン接続し、窓口手続をより身近にしました。会議室は大幅に増設し、市民活動や地域団体の拠点として積極的に開放します。



【地区市民センター】



【太陽光パネル】

▶環境配慮・ユニバーサルデザイン・防災広場

屋上に太陽光パネルを導入し省エネ・創エネを推進、非常時の自立性向上にも寄与します。全館バリアフリー設計で高齢者・障がいのある方にも配慮した施設です。隣接する防災広場にはマンホールトイレやかまどベンチを配備し、避難生活の衛生確保や炊き出し支援に直結する機能を備えました。

公募の結果、選定委員会により「クワナビスタ」が決定。名称は「桑名（クワナ）」と「Vista（展望）」の合成で、地域を広く見渡す拠点、未来を見通す施設という想いが込められています。